

2020年度入学試験筆記試験（小論文試験）

次の問題文を読んで、後の設問に答えなさい。

【文章省略】

下記の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

[出典：新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』（東洋経済新報社、2018年）。
出題の都合上、文章の一部を省略し、小見出しを削除する等の変更を加えた。]

設問1

筆者の考える「真の意味でのAI」及び「シンギュラリティ」の意味を明らかにしつつ、「シンギュラリティ」が到来するかどうかについての筆者の主張を要約しなさい（200字以上400字以内）。

設問2

デジタル化とAI技術の導入が企業に与える影響についての筆者の主張を要約しなさい（200字以上400字以内）。

設問3

以下の小問（1）及び小問（2）に答えなさい（800字以上1200字以内）。

（1）下記①及び②についての筆者の主張を要約しなさい。

①教科書が読めない大勢の子どもたちの存在とAIによる仕事の代替という事象が組み合わさるとどのような事態が生じるか。

②そうした事態になることを避けるための「ビジネス」としては、子どもたちが教科書を読めるようにする「ビジネス」以外では、どのような性質のものが考えられるか。

（2）小問（1）で触れた「ビジネス」の例としては、問題文の中で提示されている具体例のほかに、どのようなものが考えられるか。理由を付して具体的に述べなさい。なお、提示する「ビジネス」は現時点で既に存在しているものでもよい。